

インタビュー

傍聴席からひとこと



本宿 一夫さん
(境田町・70歳)

「議会を傍聴されたきっかけは何ですか。」

「議会は以前から傍聴しており、特に大震災があつてから議会運営には注目しています。」

「議会を傍聴されたの感想はいかがですか。」

「町の行く末はどうなるのだろうか」と心配しています。」

「今後、議会または町政に望むことは何ですか。」

全国的にも知れ渡っているNPO法人の予算使い切り問題の解決です。町始まって以来の不祥事に対し、行政、議会関係者が、対外的にも恥ずかしくないような議会運営を

してほしいです。

復興事業の優先順位は何かと考えると、「我が田に水を引く」ような発言は議員としての資格があるのかと疑問を感じる場面がありました。結果、助っ人（大雪りばあねつと）に足元を見られたと言わざるを得ないと思います。

国も県も早期の復興を推進している中、金銭感覚がまひすることのないよう正しく精査し適正に執行してほしいです。

明日の山田が見えてくる

3月定例会では、23日間で延べ85人の方々が議会を傍聴しました。議会での一般質問や議案審議などを通じて町政課題や町の未来が見えてきます。皆さんで議会を傍聴しましょう。6月定例会は6月上旬に開会の予定です。

山崎幸男議員が自治功労者の表彰

本町議会の山崎幸男議員（写真右）が、全国町村議会議長会から、議員として在職15年以上の「自治功労者」として表彰されました。

2月26日に再開された定例会の冒頭に、表彰状の伝達が行われ、同僚議員から祝福の拍手が送られました。受賞おめでとうございませす。



議員出欠表

◎病欠入院 □公務欠席
△遅刻早退 ○自己都合

月日	本会議種別	欠席者等氏名
1月31日	第1回臨時会	◎尾形英明
2月14日	第1回定例会	◎尾形英明
2月26日	"	◎尾形英明、△稲川勝憲
2月27日	"	◎尾形英明
2月28日	"	◎尾形英明
3月1日	"	◎尾形英明
3月4日	"	◎尾形英明
3月8日	"	◎尾形英明
3月26日	第2回臨時会	◎尾形英明

あとかき

▼震災から復興のために全力を傾けなければならぬ時期に、思わぬことに足を引っ張られている▼全容の解明に全力を尽くしており大まかな姿は見えてきた。責任の所在は関係者それぞれにある。委託した側、された側、両者の周囲の多数の人、おのおのに自覚が足りなかった。震災後の混乱期であつたことだけが要因ではない▼人間は口ポットではないからそれぞれが自分の考え・意志で動いている。（それが組織内の命令でも）常識的な善悪の判断は個々にあり責任もある。その意識が欠如している。責任を他人持ちにできるなら何をしても良い。そういう風潮が一般的にあるのでは▼噂を真に受けるのか否か、火のないうところに煙は立たないというが、オオカミ少年はどこにでもいる。耳には責任はないが口には責任がある。間に自分の考えが入るから。（黒沢）

議会広報編集特別委員会

- 議長 黒崎 一暉
- 委員長 山崎 泰昌
- 副委員長 木村 洋子
- 委員 尾形 英明
- 委員 本坂 敏明